

# あいちビジョン2020

## フォローアップ報告書（通期）（概要版）

### <作成趣旨>

- 本県では、2030年頃を展望し、2020年までに取り組むべき重点的な戦略を明らかにするとともに、県内各地域の取組方向を示す「あいちビジョン2020」を、2014年3月に策定した。
- 「あいちビジョン2020」は、計画期間を前半期（2014～2016年度）と後半期（2017～2020年度）に分けて進行管理を行っており、後半期の3年目（7年間の通期の6年目）となる2019年度は、前半期と後半期を合わせたビジョン策定以降の6年間における、政策の進捗状況の点検を行う「フォローアップ報告書（通期）」を取りまとめた。



## 1. 2020年の愛知の社会経済のイメージ（数値目標）の達成状況

めざすべき愛知の姿をイメージした10項目の数値目標については、達成率が100%以上の項目は、「製造品出荷額等」をはじめ2.5項目（0.5項目は男女の「健康寿命」の項目で女性のみ達成しているため）、達成率が95%以上の項目は、「県内総生産の全国シェア」をはじめ4項目であり、総じて見れば、10項目中6.5項目で概ね目標を達成しており、全体として概ね順調に成果を挙げている。

項目	目標値	ビジョン策定時 (2014年3月)	現状値
県内総生産の全国シェア	7.5%程度 過去10年間の最高7.3%を上回る	6.6% (2010年度)	↗ 7.2% (○) (2016年度)
製造品出荷額等の全国シェア	14.5%程度 過去10年間の最高14.1%を上回り、全国1位を維持	13.6% (2012年)	↗ 14.7% (◎) (2018年速報値)
輸出額の全国シェア	21.0%程度 過去10年間の最高20.1%を上回り、全国1位を維持	20.1% (2013年)	↗ 20.7% (○) (2019年)
学術・開発研究機関事業所数の全国シェア	5.5%程度 過去の上昇トレンドを維持し、0.5ポイント程度上乗せする	4.9% (2012年)	↘ 4.8% (△) (2016年)
農林水産業（第一次産業）県内総生産の全国シェア	3.5%程度 近年低下傾向にある中で、過去10年間の最高3.4%を上回る	3.1% (2010年度)	↘ 3.0% (△) (2016年度)
労働力人口の全国シェア	6.2%程度 過去のトレンドを加味し、過去10年間の最高6.0%を上回る	6.0% (2012年)	↗ 6.1% (○) (2019年)
労働力率	62.0%程度 高齢化に伴う低下傾向の中で、2012年水準を維持	61.7% (2012年)	↗ 64.5% (◎) (2019年)
平均理想子ども数と平均予定子ども数の差	0.35人程度 現状から1～2割程度の差の縮小をめざす	0.41人 (2013年) 理想子ども数:2.48人 予定子ども数:2.07人	↗ 0.38人 (△) (2018年) 理想子ども数:2.41人 予定子ども数:2.03人
健康寿命	全国1位 2022年度:男75年以上、女80年以上（「健康日本21あいち新計画」の目標）	男性全国1位 (71.74年) 女性全国3位 (74.93年) (2010年)	男性全国3位 (△) (73.06年) 女性全国1位 (◎) (76.32年) (2016年)
県民の幸福感	7.0点 現状より1点以上上回る	5.7点 (2013年度)	↗ 6.7点 (○) (2019年度)

◎：達成率100%以上      ○：達成率95%以上100%未満      ⇨：策定時との比較  
△：達成率80%以上95%未満      ×：達成率80%未満

## 2. めざすべき愛知の姿に向けた主な取組状況

「あいちビジョン2020」では、2030年頃を想定しためざすべき姿として、「①リニアを生かし、世界の中で存在感を発揮する中京大都市圏」、「②日本の成長をリードする産業の革新・創造拠点」、「③人が輝き、女性や高齢者、障害のある人など、すべての人が活躍する愛知」の3つを掲げ、各種施策・事業に取り組んできた。

### ①リニアを生かし、世界の中で存在感を発揮する中京大都市圏

#### ◆リニア開業を見据えた大都市圏づくり

- ・名古屋駅からの40分交通圏拡大に向け、知立駅付近での鉄道高架事業や、名鉄三河線の複線化など名古屋駅－豊田市駅間の速達化に向けた協議・調整の推進
- ・中京大都市圏内の結びつきの強化等につながる新東名高速道路をはじめとする広域幹線道路網や西知多道路など主要幹線道路網の整備・充実に向けた国等への働きかけ
- ・中部国際空港の航空ネットワークの充実に向けたアジア諸国を中心としたエアポートセールスの実施やLCC向け新ターミナル（第2ターミナル）のオープンなど空港機能の充実や二本目滑走路の早期実現に向けた国への働きかけ
- ・愛知県国際展示場「Aichi Sky Expo」や「あいち航空ミュージアム」の整備、土地区画整理事業や市街地再開発事業など主要都市等の機能充実の推進

#### ◆地方創生と東京一極集中の是正

- ・「あいちUIJターン支援センター」や「あいちプロフェッショナル人材戦略拠点」の設置などを通じたUIJターンの促進や県内企業の人材確保への支援
- ・「一番住みたい愛知」をキャッチコピーとしたWebサイトやパンフレット、SNSを活用したフォトコンテストなどによる「愛知の住みやすさ」の発信

#### ◆世界に向けた愛知の魅力の発信

- ・2026年のアジア競技大会開催に向けた（一財）愛知・名古屋アジア競技大会組織委員会の設立、大会開催基本計画をはじめとする諸計画の策定、「あいちトップアスリートアカデミー」による地元選手の発掘・育成
- ・「マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知」、「新城ラリー」などのスポーツ大会を通じた地域活性化や「ラグビーワールドカップ2019」の受入体制の整備や気運醸成
- ・国際旅行博への出展や海外観光説明会・商談会の開催など「“Heart” of JAPAN」をキャッチワードにした訪日旅行者誘致に向けたプロモーションの実施
- ・「サムライ・ニンジャフェスティバル」の開催や、「徳川家康と服部半蔵忍者隊」によるPRなど「武将のふるさと愛知」の魅力の国内外への発信
- ・2022年秋の開業に向けたジブリパークの整備・運営に係る、県、（株）スタジオジブリ、（株）中日新聞社の三者での「基本合意書」の締結
- ・愛知県国際展示場「Aichi Sky Expo」における技能五輪全国大会・全国アビリンピック、「ワールドロボットサミット」など国際的な大規模イベントの継続的な開催のほか、「愛知・名古屋MICE推進協議会」を中心とした新たなMICEの誘致・開催に向けた取組

## ②日本の成長をリードする産業の革新・創造拠点

### ◆世界の活力を取り込むグローバル展開

- ・タイのバンコク産業情報センター、インド及びインドネシアのサポートデスクの開設による海外進出企業に対する現地支援
- ・中国・広東省との友好提携をはじめ、タイ工業省、韓国・京畿道など新たな国・地域とのパートナーシップの形成
- ・県立高等学校等における「あいちスーパーイングリッシュハブスクール事業」の指定校における研究成果の普及、オールイングリッシュによる共同生活体験の実施
- ・公立小中学校への日本語教育適応学級担当教員や語学相談員の派遣など外国人の子どもたちに対する日本語教育支援

### ◆日本の成長をリードする最強の産業県

- ・産学行政の連携による共同研究「重点研究プロジェクト」の実施、「あいちシンクロトロン光センター」の運営、企業の材料開発に対する支援
- ・電気自動車（EV）・プラグインハイブリッド自動車（PHV）・燃料電池自動車（FCV）に対する自動車税（種別割）の課税免除など次世代自動車の普及促進
- ・「遠隔型自動運転システム」や第5世代移動通信システム（5G）を活用した自動運転の実証実験
- ・「ロボカップアジアパシフィック 2020 あいち」、「ワールドロボットサミット 2020」の開催に向けた準備
- ・国立長寿医療研究センター内の「あいちサービスロボット実用化支援センター」における医療・介護や生活支援等のサービスロボットの開発支援
- ・「Aichi-Startup 推進ネットワーク会議」の立ち上げ、「Aichi-Startup 戦略」の策定、総合的な中核支援拠点「ステーションA i」（2022年11月オープン予定）の整備推進などによるスタートアップの創出・育成とエコシステムの形成
- ・モノづくり技能の継承と、技能尊重気運を高めるための2019年度の技能五輪全国大会・全国アビリンピックの開催と2020年度の同大会開催に向けた準備

### ◆競争力のある農林水産業

- ・本県の6次産業化の指針「愛知県6次産業化推進戦略」に基づく「6次産業化サポートセンター」における個別相談や販路拡大への支援
- ・「第70回全国植樹祭」や木材関連イベントによる県産木材の利用促進
- ・「農林水産業国際競争力強化センター」を中心とした海外での展示会等への参加、出展事業者へのフォローアップ、海外バイヤーとの相談機会の創出
- ・次世代施設園芸の拠点整備、「あいち型植物工場」の導入推進などICTを活用した生産性向上や産地の生産基盤強化への支援
- ・航空レーザ計測による高精度な森林資源情報の把握など、森林・林業・木材産業においてICTの活用を推進する「スマート林業」の取組の実施
- ・就農・就業希望者に対する相談活動や技術指導のほか、農福連携や国家戦略特区による農業支援外国人材の活用等による多様な担い手の確保・育成

### ③人が輝き、女性や高齢者、障害のある人など、すべての人が活躍する愛知

#### ◆すべての人が活躍できる社会

- ・「教員多忙化解消プラン」に基づく、教員の長時間労働是正に向けた在校時間管理の適正化や業務改善に向けた学校マネジメントの推進、部活動指導の負担軽減など教員が健康的に教育活動に従事できる環境づくり
- ・ロボット工学科の新設や普通科の教育課程に専門科目等を取り入れるコース制の新設、新たな入試制度の実施など魅力ある県立高等学校づくり
- ・経済団体・労働団体・企業・国の機関等をメンバーとした「あいちの女性活躍促進会議」による企業への意識改革や「あいち女性輝きカンパニー」の認証企業の拡大など女性の活躍促進
- ・子育て世代包括支援センターの設置促進、保育所や認定子ども園、幼稚園等の一時預かりへの助成など地域における子ども・子育て家庭への支援
- ・「子どもが輝く未来基金」による児童養護施設入所児童等の自立支援や子ども食堂への支援など子どもの貧困対策の充実
- ・保健医療局内に設置した「愛知県地域医療支援センター」による地域枠医師の育成等の医師確保対策の実施
- ・認知症サポーターの養成、国立長寿医療研究センターと連携した認知症予防運動プログラムの作成など認知症施策の実施
- ・いなざわ特別支援学校、豊橋特別支援学校山嶺教室、大府もちのき特別支援学校、瀬戸つばき特別支援学校の開設（4校とも知的障害）による特別支援学校の規模や配置の適正化
- ・「障害者福祉減税基金」を活用した民間法人による重症心身障害児者の病床整備促進、医療や地域での生活支援の拠点となる「医療療育総合センター」の整備など医療・療育支援の充実

#### ◆安全・安心な地域社会

- ・「第3次あいち地震対策アクションプラン」、「愛知県地域強靱化計画」に基づく総合的な防災・減災対策の実施
- ・耐震診断・耐震改修の補助など住宅・建築物の耐震化の促進、一般県有施設や県立学校の耐震化の推進
- ・高齢者に対する身体機能の変化を気付かせる教育や啓発活動の実施、運転中の「ながらスマホ」など法令違反・悪質危険運転の根絶に向けた参加・体験型イベントの実施

#### ◆持続可能なまちづくり

- ・水素の製造、輸送、利用に伴う二酸化炭素の排出が少ない水素を「低炭素水素」として認証し、情報発信する「低炭素水素認証制度」の制定
- ・産学行政が連携した生態系ネットワーク協議会による生物多様性の保全に向けた取組の実施
- ・愛知道路公社が管理する有料道路8路線の運営を民間事業者が行う「有料道路コンセッション」の導入